

裾野麗峰山の会・山行報告書

写真・文 後藤

日時 2017. 02. 25 (土) 無風快晴高温
山域 湯河原・幕山 (626m)
コース 湯河原駅発 8:31 - 五郎神社 9:12 - 南郷山 10:52 - 林道 11:14 - 自鑑水分岐 - 幕山 11:41 ~ 13:05 - 梅園公園 14:14 - 湯河原駅 - 三島・反省会 (はなの舞)
標高差 上り 湯河原駅約30m ~ 幕山626m = 約596m
参加者 沖・勝又陽・室伏・橋本・来生 (きしき)・大根田・高岡・井上・加藤・峰田・後藤・鈴木新 (会員外) = 12名

電車で行く山。湯河原駅で自己紹介。新入会員のH君が初参加。ほか、自称「出戻り会員」、元会員などが顔を揃えた。駅前には、バスで幕山に向かう人が沢山。歩けばイイのに。



五郎神社の途中で、何処かで見た後姿の美女がいた。街頭販売のミカンを買っていた。声を掛けると、やっぱりA山の会のM嬢だった。師匠のS氏と幕岩クライミングに来たようだ。しばし、歓談後、健闘を約し分かれた。



五郎神社から本格的な上り。600m余の山だが、侮れない。大汗をかいて南郷山着。ここから大下りで林道に降りる。スッキリしたルートではない。自鑑水は林道から再登しなければならず、寄らなかった。昔は、林道がなく、自然に寄れた記憶だが。



ひと上りで幕山着。頂上は人で溢れ、立錐の余地が無かった。ざっと数えて100人はいるだろう。一つの山にこれほどの人がいるのは珍しい。「梅力」だろうか。昼食は、カヤトの中でいただく。余りに食物が多く、食べるのが大変だった。

美味しいお神酒もいただき下山。12時を回ったが、まだ下からゾロゾロ上って来る。中にはスカートのお嬢様もいた。右手に幕岩が見えた。多くのクライマーが取り付いていた。S氏は16時ころまでいたそうだ。



右手に幕岩を見て梅園を下る。そういえば、大昔、幕岩で岩トレを思い出した。若い頃は、私も一応「クライマー」だった。冬の岩壁も上った。

冬は以前、書いた「甲斐駒摩利支天中央壁」「八ッ・大同心壁」

「阿弥陀北西稜フランケ」「北岳バットレス」など。夏の壁は、日本アルプスの主な所は、ほとんど上っている。

滝谷（ドーム、第四尾根）・前穂高東壁右岩稜・谷川岳各ルート）・ハッ（全ルート）・剣岳（チンネ、ハッ峰、本峰南壁）・屏風岩、北岳バットレス（全ルート）など。

当時の山岳会は、いわゆるピークハント登山は、馬鹿にされ、登山は全てクライミングだった。ま、若かった訳です。



梅園の梅は、全体的に早かった。下部は満開だったが、中部から上部は、5分咲きだった。駐車場付近は、人でゴッタ返していた。トイレから出て来ると、仲間は「ソフトクリーム」を舐めていた。まあまあ。

梅園から駅までブラブラ歩く。14時を回ったが、まだ下から沢山車が上って来る。湯河原町もイイ稼ぎをやっている。

数年前、ここで「梅園入園料」で揉めたことがある。当日、私達は、幕山の隣の城山登山に来た。幕山もそうだが、梅園公園から上るには、梅園を通過しなければ上れない。そこが登山道だからだ。

ところが、梅見学でなく登山に来た我々に「入園料を払え」と町係りの女性が迫って来た。我々は「梅見学でないから払うのはおかしい」と応対。そこで「払え・払わない」で紛糾した。梅園入園料で揉めた。当時、朝日新聞「声」投稿原稿を見ると、料金は200-だった。200-は、微々たる金額だが、これは金額の問題ではない。どう、考えても筋が通らない。

女性は執拗に食い下がる。同行したSAさんは、「いいからお金を払って行きましょう」といった。が、私は、納得しない。町女性に、「では、上司（責任者）に会わせてくれ」と交渉。女性は「分かりました」といい、私を公園事務所に連れていった。そこで、まだ私より若い責任者に会って経緯を説明したら、その方は開口一番、「払わなくても、イイです」だった。女性はあくまで、仕事に忠実だったと思うが、誰が考えても、「おかしいことは、おかしい」それを、しっかり言える世の中でありたいものだ。それに似たようなことは、沢山ある。



駅までのブラブラは楽しい。ミカン販売を冷やかしたり、和菓子屋でお菓子を買ったりした。湯河原駅まで上りを行う。久しぶりに参加のSちゃんは厳しかったが、頑張った。このくらい歩けば、熊野古道は大丈夫だ。駅で解散。時間がある人は、三島で反省会を行った。今回は低山だったが、案外、上りがいがあり、いい訓練だった。ハイクも工夫次第で、いい山になりますね。

